

日常的な分析業務における JIS 並びに ISO 規格の利用

－ 表面分析実用化セミナー '13 －

平成 25 年 6 月

主催 一般社団法人 表面分析研究会

表面分析に関する国際規格は国際標準化機構（ISO）で議論され、国際的な合意のもと現在では 53 件の ISO 規格が成立し、これら ISO 規格のうち 21 件は日本の国家標準である日本工業規格（JIS）として翻訳されています。JIS 規格や ISO 規格で取り扱われている事項は、表面分析装置のメンテナンスや試料の取り扱い、各種材料の分析法、計測データの処理、測定結果の報告など多岐にわたっています。

ところで日常の分析業務においてこれらの規格はどの程度利用されているのでしょうか？装置のメンテナンス時に行われるもの、測定ソフトや解析ソフトに組み込まれているものも多く、ユーザーにとっては直接目に見えないところで利用されている規格も多数あります。また JIS や ISO 規格ではなく、各部署に伝わる技術やノウハウ、社内標準に従って業務が行われる場合も多く見られます。しかしながら、産業のグローバル化に伴って分析評価の重要性が世界的に再認識され、国際標準に従った分析評価（測定・解析・報告）が不可欠となっています。

そこで表面分析研究会（SASJ）では、JIS 及び ISO 規格に関する実用的なセミナーを継続的に開催しております（2010、2011、2012）。本年度も、分析の実務担当者の意見をもとに選定した、日常の分析業務において高い信頼性と再現性で高精度な分析を行うために不可欠である規格やユーザー自身が知っておくべき規格を中心に解説します。講師には、現在分析の実務に携わっておられる方を中心にお迎えし、実用的な「聞けば使えるセミナー」を目指します。

本セミナーでは、各規格を理解するために必要な基本事項の説明から実際の使い方まで実用的な観点から各規格に合わせた解説を行い、日頃の分析業務へ直接生かせるような講演を行います。ぜひ企業、研究所等の現場で実際に表面分析に携わっておられる多数の方々に参加していただき、日常業務に役立てていただきたく存じます。

なお、各講演の概要等の詳細は順次 Web へ掲載して参りますので、適宜 Web ページでご確認ください。

本年度は JASIS セミナーとして開催

日時：9月6日（金）10:00－17:00

場所：幕張メッセ 国際会議場 1 階 103 会議室

〒261-0023 千葉市美浜区中瀬 2-1 TEL:043-296-0001(代)

<http://www.m-messe.co.jp/>

1. 各手法共通－分析試料の前処理と取り付けに関するガイドライン（ISO 18116）
－正しい結果を得るための試料前処理と取り付け－
各手法共通－分析前の試料の取り扱い（ISO 18117）－正しい結果を得るための各種試料の扱い方－
柳内克昭（TDK(株) ヘッドビジネスグループ 技術支援グループ）
2. SIMS－S-SIMS における相対強度軸目盛の繰り返し性と整合性（ISO 23830）－正しい強度の計測－
伊藤博人（コニカミノルタ(株) 開発統括本部 第二技術開発センター 分析技術室）
3. スパッタ深さ方向分析－スパッタ深さ測定法（TS K 0012, ISO/TR 15969）－様々なスパッタ深さ測定法－
スパッタ深さ方向分析－スパッタ速度の測定法：メッシュレプリカ法（ISO/TR 22335）
－正しいスパッタ速度の測定－
佐藤美知子（富士通クオリティ・ラボ(株) マテリアル事業部）
4. AES－帯電制御と帯電補正に用いた手法の報告方法（ISO 29081）－絶縁物の正しい AES 分析－
荒木祥和（(株)日産アーク マテリアル解析部）
5. XPS－分析のガイドライン（ISO 10810）－正しい XPS 分析を効率よく行うために－
藺林豊（京都大学 大学院工学研究科 材料工学専攻 教育研究支援室）

参加者数：： 100 名（予定） （定員を超えた場合は締切前に申込受付を締め切る場合あり）

参加費：*SASJ 会員 10,000 円

その他 15,000 円

*入会手続き中も会員扱い。入会金、年会費無料。入会は Web (<http://www.sasj.jp/jpn-index.html>) から行えます。

参加申込：お申し込みは Web (<http://www.sasj.jp/seminar/iso-seminar13/index.html>) からお願いします。

<お願い>参加申し込み締め切り後のキャンセルに関しましては、誠に勝手ながら参加費の払い戻しは致しません。御都合が悪くなった場合には、代理の方の参加をお願い致します。

参加申込締切：調整中。追ってお知らせいたします。

質問：講義内容に関して質問があれば、下記問い合わせ先まで電子メールにてご連絡ください。セミナー当日に講師の先生からご回答いただくようにいたします。

問い合わせ先：表面分析研究会セミナー担当 永富隆清（旭化成株式会社）

E-mail: nagatomi.td(a)om.asahi-kasei.co.jp Tel: 0545-62-3248

Web ページ：表面分析研究会 (<http://www.sasj.jp/jpn-index.html>)

セミナー申し込み (<http://www.sasj.jp/seminar/iso-seminar13/index.html>)